

6 文化

～創造性を育む～

基本目標 18 創造的な活動により活力あふれるまちにします

基本目標 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします

基本目標 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします

基本目標 18

創造的な活動により活力あふれるまちにします

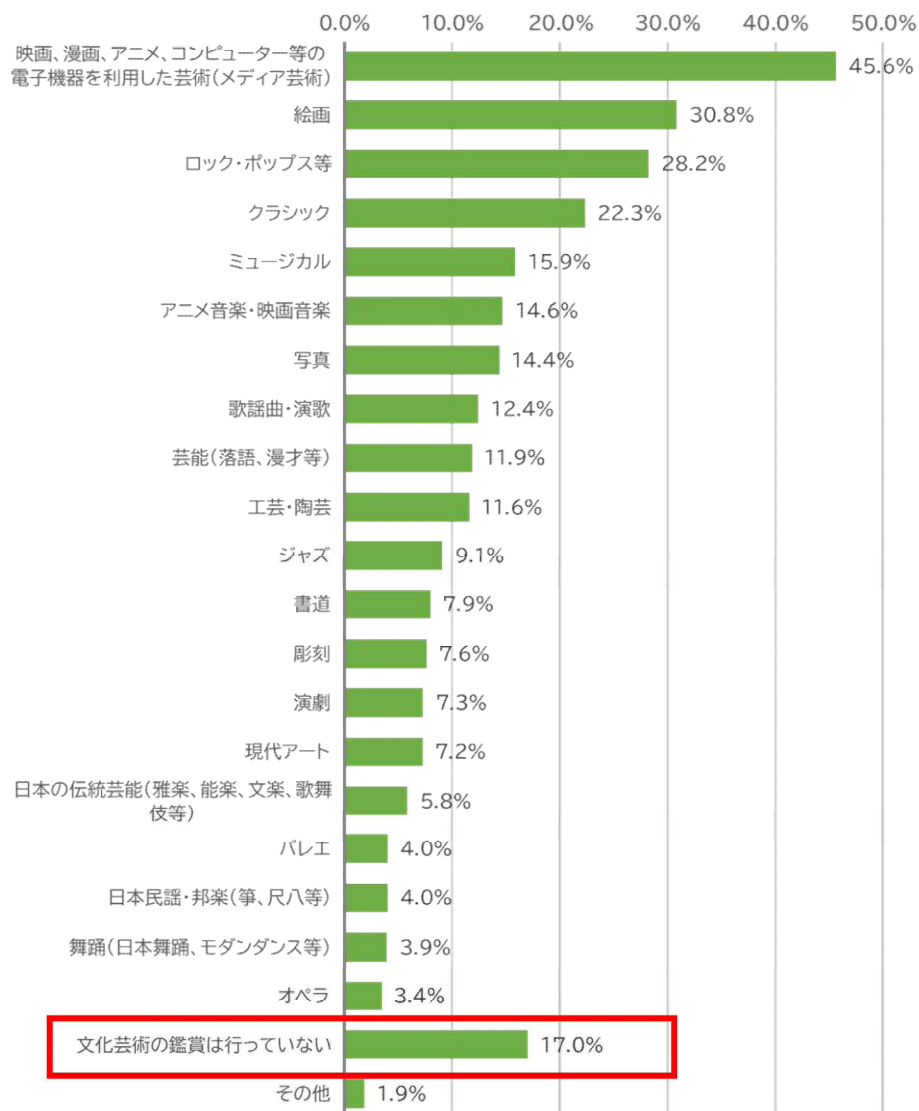
将来のまちの姿-1

文化芸術やスポーツが、市民に感動や刺激を与え、市民の感性や創造性を育むことで、生活を豊かなものにしています。

データからわかる現在のすがた

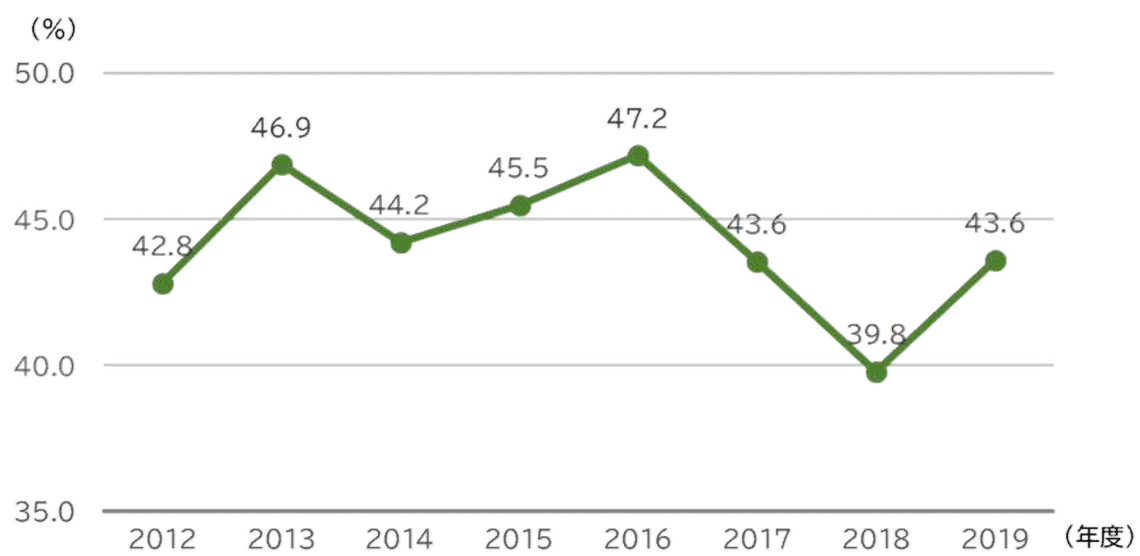
- ①令和元年度(2019年度)、1年間に何らかの文化芸術の鑑賞活動を行った15歳以上の市民の割合は83.0%と高くなっています。
- ②年に1回以上、直接スポーツを観戦している18歳以上の市民の割合は45%前後で推移しています。

①この1年間に鑑賞した文化芸術の分野(令和元年度(2019年度))



<資料> 札幌市
有効回答数:1,400

②直接スポーツ観戦率



<資料>札幌市
※18歳以上、年1回以上

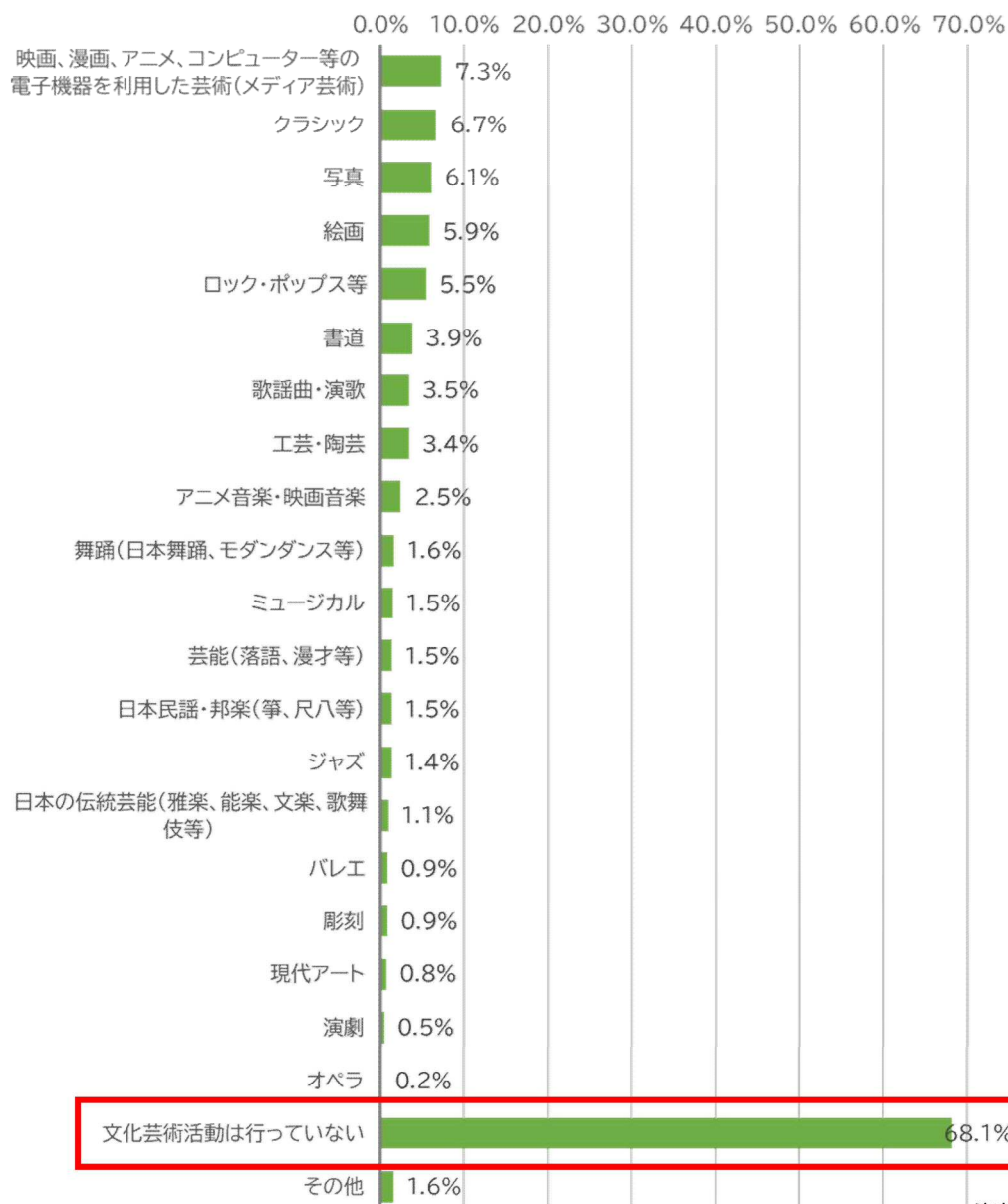
将来のまちの姿-2

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、見るだけではなく、自ら文化芸術やスポーツを楽しむことで、充実した生活を送っています。

データからわかる現在のすがた

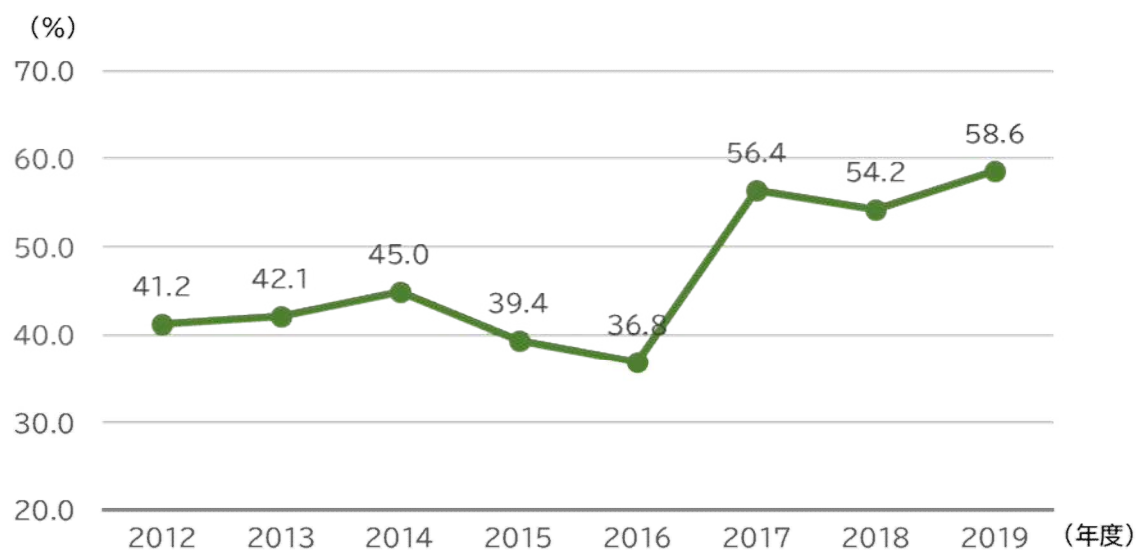
- ①令和元年度(2019 年度)、文化芸術の鑑賞活動を行った人は 83%と高い割合ですが(前項参照)、鑑賞活動以外への参加は 31.9%に留まっています。
- ②令和元年度(2019 年度)のスポーツ実施率(週 1 日以上運動を行う成人の割合)は 58.6%と上昇しています。
- ③年代別に見ると、20～30 代が全体より低い水準です。

①鑑賞活動以外の文化芸術活動への参加割合(令和元年度(2019 年度))



<資料>札幌市
有効回答数:1,293

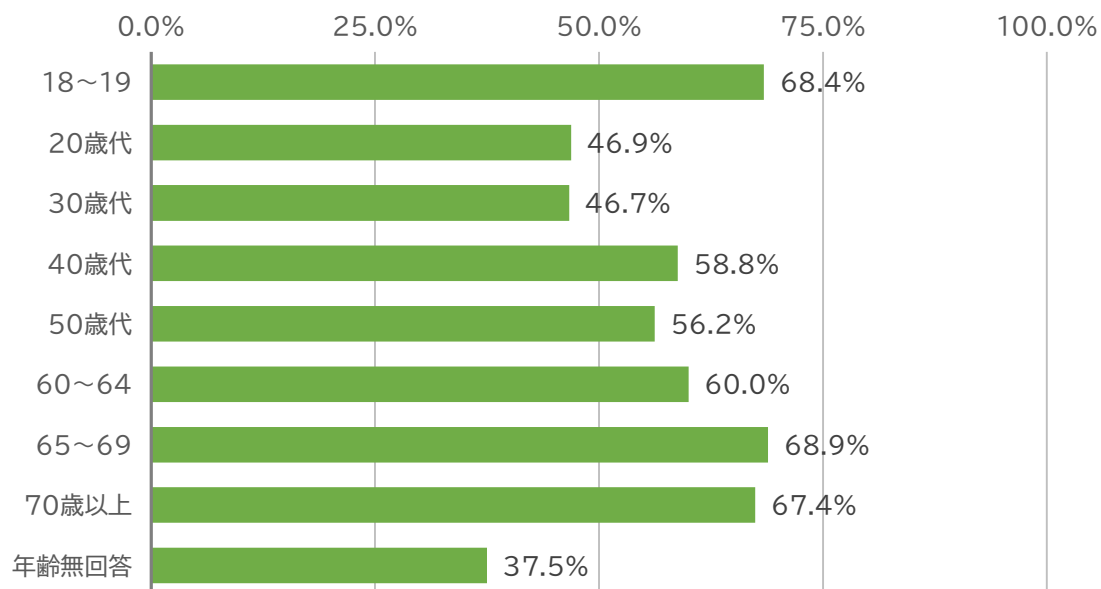
②スポーツ実施率※の推移



<資料>札幌市

※成人のうち、週に1回以上スポーツ(運動)を実施する人の割合

③年代別スポーツ実施率(令和元年度(2019 年度))



<資料>札幌市

有効回答数:1,409

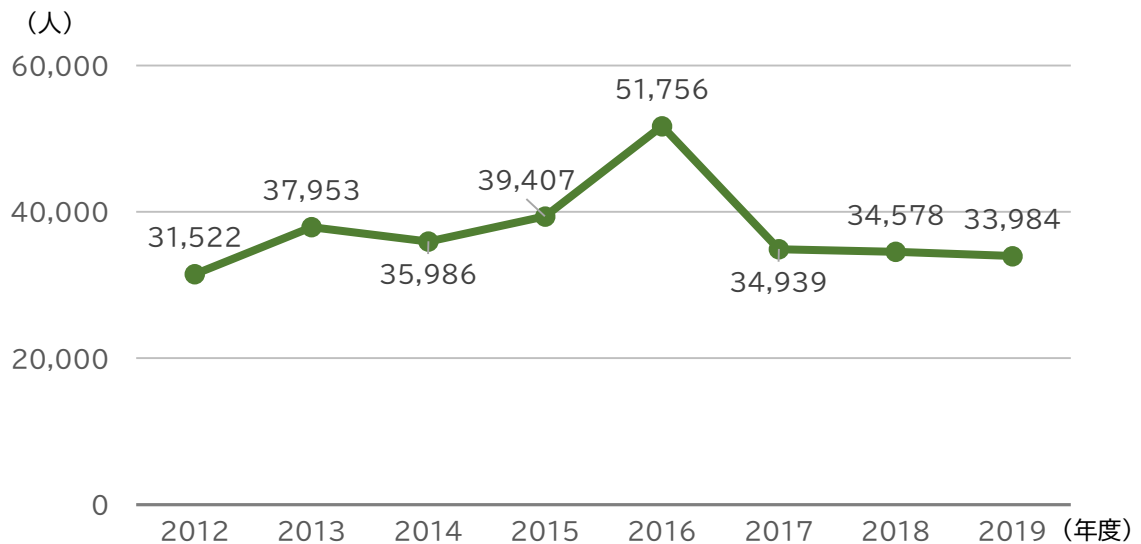
将来のまちの姿-3

文化芸術やスポーツからつくり出された人と人との交流がまちづくりに発展し、まちの活性化へとつながっています。

データからわかる現在のすがた

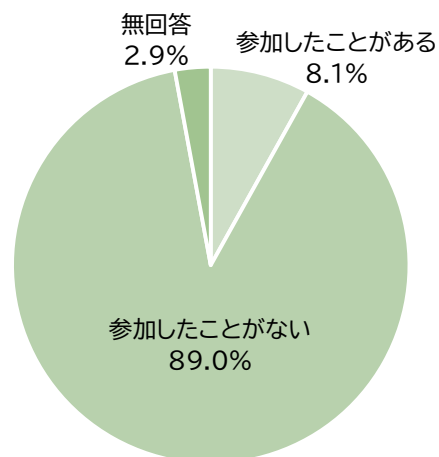
- ①各区のスポーツイベント参加者数は、2017 冬季アジア札幌大会の開催に伴う関連イベントなどにより、5万人を超えた平成 28 年度(2016 年度)を除くと、3万5千人前後で推移しています。
- ②地域のスポーツ活動などの担い手であるスポーツボランティアに参加したことがある人は平成 29 年度(2017 年度)時点で 8.1%にとどまっています。

①各区のスポーツイベント参加者数



<資料>札幌市

②スポーツボランティア参加経験(平成 29 年度(2017 年度))



<資料>札幌市

基本目標 19

文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします

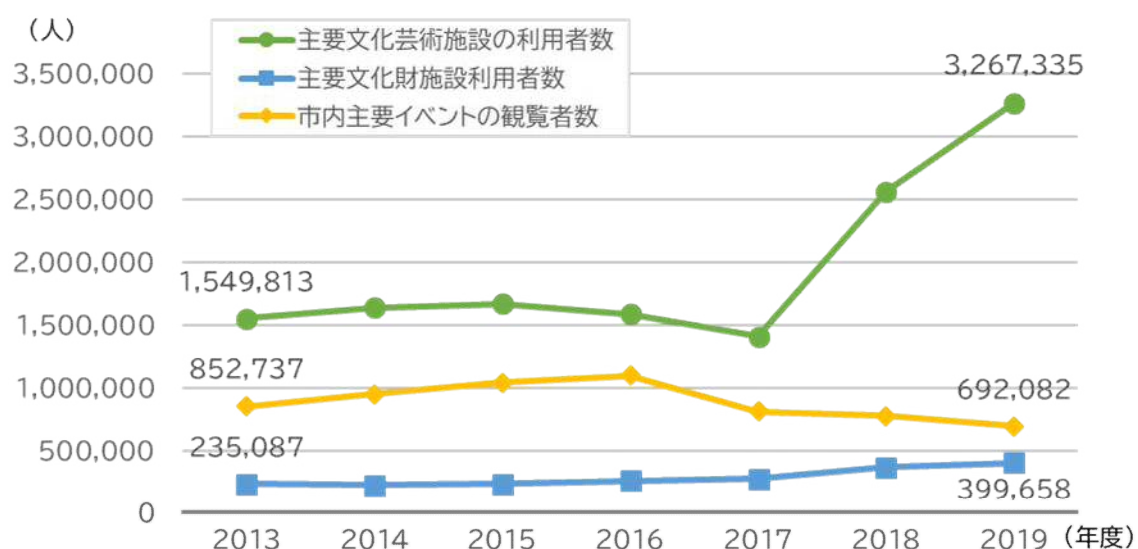
将来のまちの姿-1

多くの人が集まる文化芸術やスポーツが、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などの様々な分野で生かされています。

データからわかる現在のすがた

- ①令和元年度(2019 年度)における主要文化芸術施設の利用者数は約 327 万人、主要文化財施設の利用者数は約 40 万人と平成 25 年度(2013 年度)から増加していますが、市内主要イベントの観覧者数は約 69 万人と減少傾向です。
- ②平成 24 年度(2012 年度)から令和元年度(2019 年度)の間で、選手・役員・観客をあわせて1,000 人以上が参加する大規模なスポーツの国際大会を 11 大会開催しています。
- ③ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会札幌開催では、宿泊、飲食及びインフラ整備・大会運営費等による経済波及効果は 120 億円となりました。
- ④また、街中コンシェルジュ活動や日本文化体験イベントなど、ボランティアによるおもてなしを通じた積極的な国際交流が行われました。

①主要文化芸術施設・文化財施設利用者数、主要イベント観客者数



<資料>札幌市

※主要文化芸術施設：市民交流プラザ(2018.10 オープン)、札幌芸術の森、札幌コンサートホール(Kitara)、教育文化会館、市民ギャラリー、本郷新記念札幌彫刻美術館

※主要文化財施設：時計台(2018.6.1～10.31 休館)、豊平館(2016.6.20 リニューアルオープン)、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮(2018.6 リニューアルオープン)、八窓庵、琴似屯田兵村兵屋跡、清華亭、旧黒岩家住宅、新琴似屯田兵中隊本部、札幌村郷土記念館、丘珠縄文遺跡(2018.5 オープン)

※市内主要イベント：PMF、サッポロシティジャズ、さっぽろアートステージ

②新たに開催された国際大会等

	開催年度	開催期間	大会名称	備考
1	2014	2015.1.22～1.24	FISノルディックコンバインドワールドカップ2015札幌大会	
2	2014	2015.3.14～3.22	2015年世界女子カーリング選手権大会	
3	2015	2016.2.11～2.14	2016男子オリンピック2次予選	アイスホッケー
4	2015	2016.2.13～2.14	FISスノーボードワールドカップ2016札幌大会	
5	2016	2016.11.25～11.27	2016NHK杯国際フィギュアスケート競技大会	
6	2016	2017.2.10～2.11	FISノルディックコンバインドワールドカップ2017札幌大会	
7	2016	2017.2.19～2.26	2017年冬季アジア札幌大会	
8	2016	2017.3.18～3.22	IPCノルディックスキーワールドカップ札幌大会	
9	2018	2019.2.14～2.17	第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会	
10	2018	2019.3.12～3.17	2019ワールドパラノルディックスキーワールドカップ	
11	2019	2019.9.21～9.22	ラグビーワールドカップ2019大会	札幌開催は2試合

<資料> 札幌市

③ラグビーワールドカップ 2019™の経済効果等(札幌市)

経済波及効果	120億円 (80百万ポンド)
GDP効果	71億円 (47百万ポンド)
ファンゾーン 入場者数	52,397人
ファンゾーン 売上額	32,819,752円 (218,798ポンド)
スタジアム チケット販売数	78,840枚

<資料> ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会開催後経済効果分析レポート

④街中コンシェルジュ活動、日本文化体験イベント



街中コンシェルジュ	フォトフレームによる写真撮影などと 問い合わせ対応ボランティア・スタッフ等144人
日本文化体験	ボランティア50人、体験者110人

<資料>ラグビーワールドカップ日本 2019 札幌開催報告書

将来のまちの姿-2

文化芸術やスポーツが、食や観光など様々な産業分野と結び付くことで新たな付加価値を生み出し、まちににぎわいと活力があふれています。

データからわかる現在のすがた

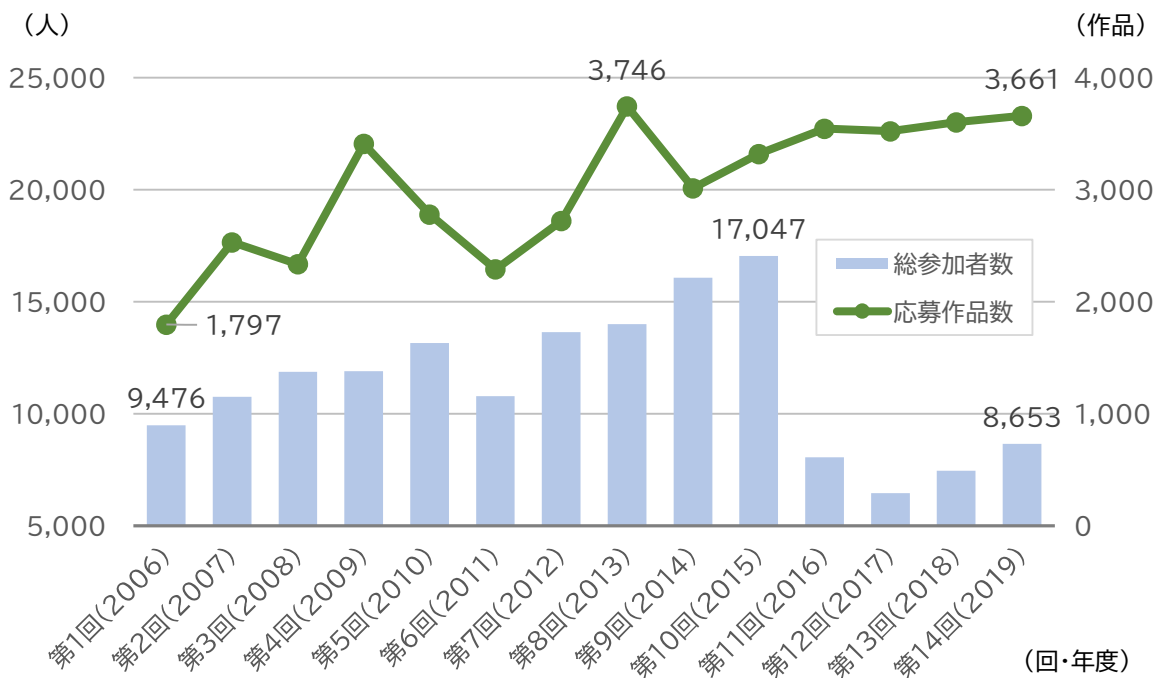
- ①創造性を生かした産業であるクリエイティブ産業の従事者数は、年々増加しており、平成 28 年度(2016 年度)は 35,934 人となっています。
- ②札幌国際短編映画祭の応募作品数及び総参加数は増加傾向であり、令和元年度(2019 年度)は作品数 3,661 本、総参加数は 8,653 人となっています。
- ③さっぽろグローバルスポーツコミッションが行う海外代表合宿の誘致件数は増加傾向です。令和元年度(2019 年度)は8件を誘致しており、スポーツツーリズムが推進されています。

①クリエイティブ産業の従事者数

(人)	2012 年度	2014 年度	2016 年度
クリエイティブ産業の従事者数	33,947	35,231	35,934

<資料>総務省統計局「経済センサス」

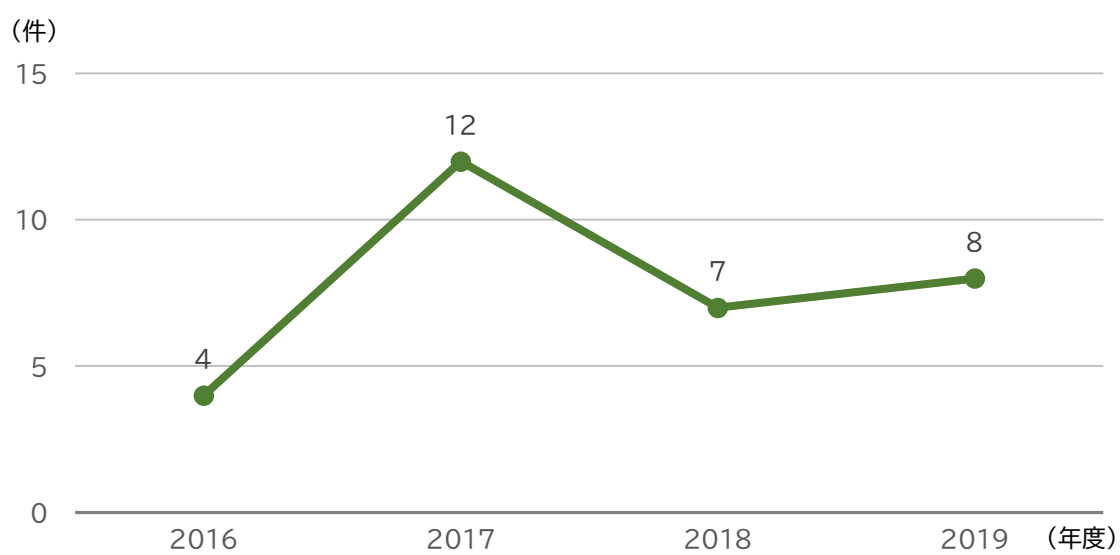
②札幌国際短編映画祭総参加者数及び応募作品数の推移



<資料>札幌市

※平成 28 年度(2016 年度)以降、関連イベントの来場者を除いた映画祭開催期間の来場者のみを集計している

③さっぽろグローバルスポーツコミッション海外代表合宿誘致件数



<資料>札幌市

基本目標 20

市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします

将来のまちの姿-1

雄大な北海道の中であって、四季折々の豊かな自然と快適な都市機能を備えている札幌は、そこに暮らす人、そこを訪れる人を刺激し、その創造性を育んでいます。

データからわかる現在のすがた

- ①市民の創造性を育む拠点として、平成30年(2018年)10月に札幌市民交流プラザが開館しました。初年度の文化芸術劇場ホール及び交流センター利用率は90%超、来館者数実績は約113万人といずれも高くなっています。
- ②地下鉄南北線さっぽろ駅コンコースに、アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりの場として、アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」をオープンしました。(再掲)
- ③創造性を育むには、感性豊かな子どものころから様々な体験をすることが重要です。子どもが自然、社会、文化などを体験しやすい環境だと思う人の割合は平成24年度(2012年度)の63.9%以降減少傾向でしたが、令和元年度(2019年度)は60.1%に改善しました。

①札幌文化芸術劇場ホール・札幌文化芸術交流センター利用率、来館者数



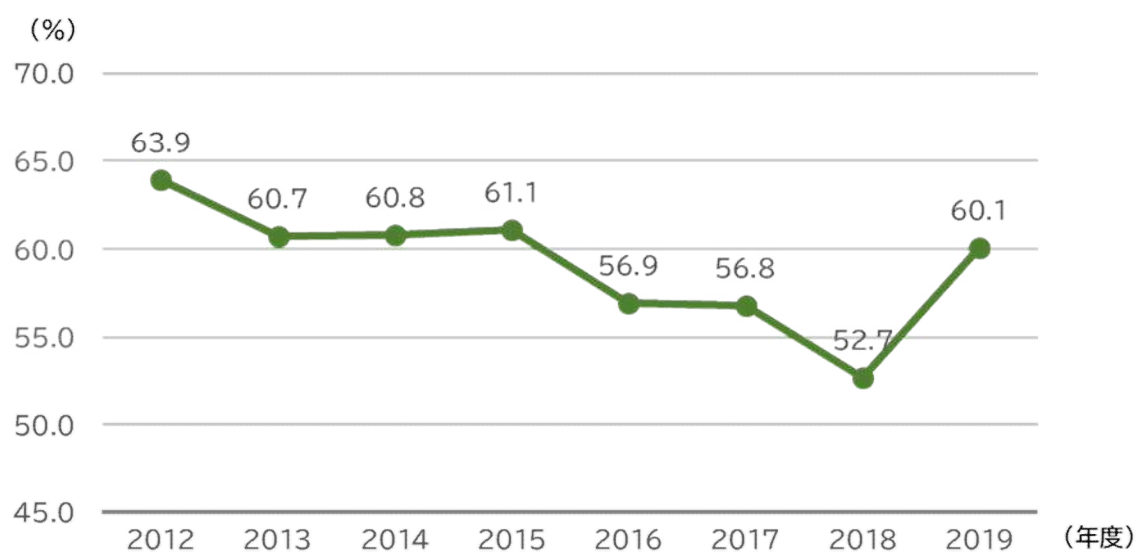
	2018 年度 ※10月オープン	2019 年度
札幌文化芸術劇場ホール 利用率	91.8%	72.6%
札幌文化芸術交流センター 利用率	90.6%	80.9%
来館者数(図書・情報館含む)	1,129,107人	1,693,326人

<資料>札幌市

②アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」



③子どもが自然、社会、文化などを体験しやすい環境だと思う人の割合



<資料>札幌市

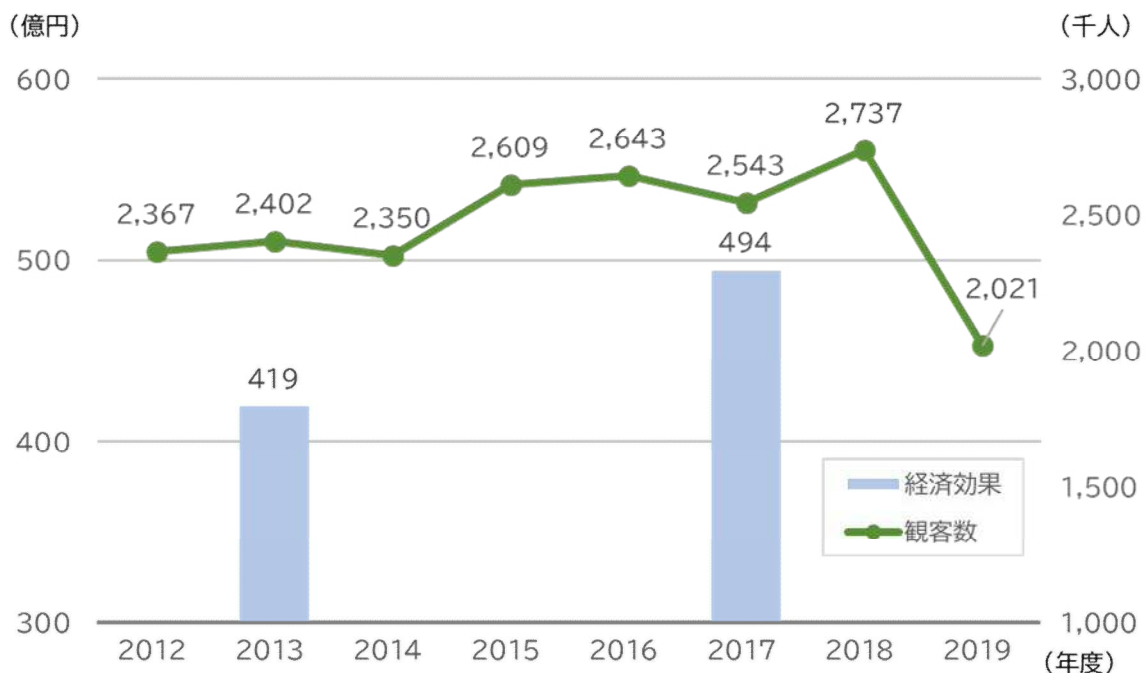
将来のまちの姿-2

世界の大都市の中でも降雪量が突出している札幌は、独自の冬の文化を形成しており、厳しい冬の生活環境の中でも、雪を楽しむ魅力あるイベントやウインタースポーツなどが、まちににぎわいを与えています。

データからわかる現在のすがた

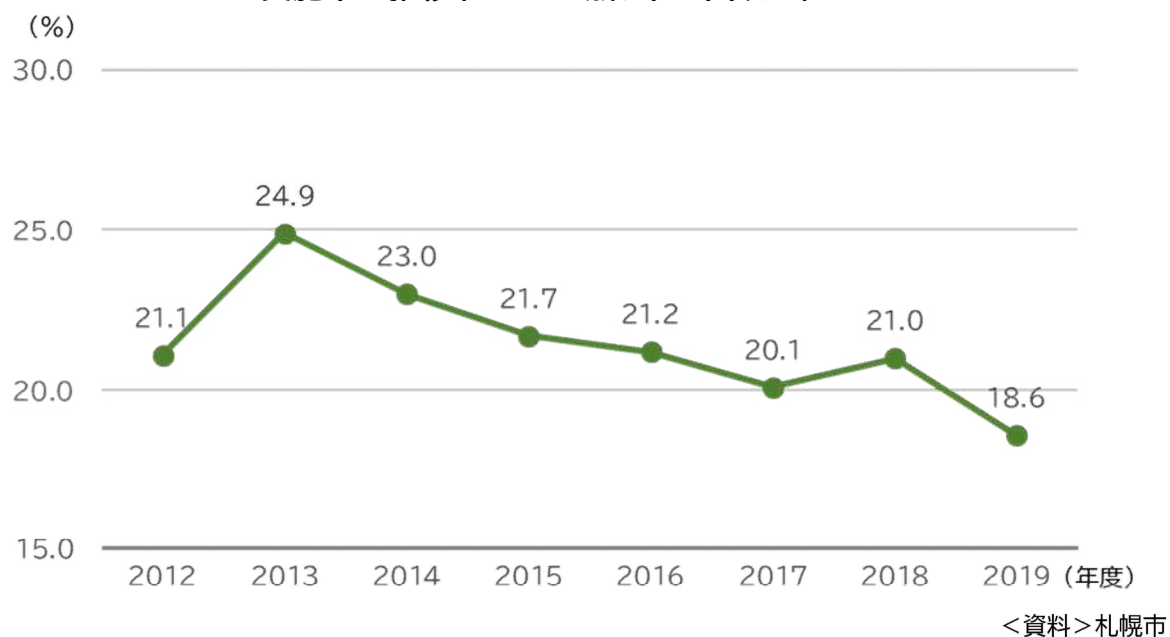
- ①札幌の冬の代表的なイベントであるさっぽろ雪まつりの観客数は平成 30 年度（2018 年度）までは増加傾向にありましたが、令和元年度（2019 年度）は新型コロナウイルスの影響により、202.1 万人となりました。また、経済効果は、平成 25 年度（2013 年度）は 419 億円でしたが、平成 29 年度（2017 年度）は 494 億円と増加傾向にあります。
- ②年に1回以上ウインタースポーツを行う 18～49 歳の方の割合は、平成 24 年度（2012 年度）は 21.1%でしたが、令和元年度（2019 年度）は 18.6%と減少傾向にあります。
- ③主として「仕事や家事が忙しい」ことや「用具購入費の負担」がウインタースポーツを行う上での妨げとなっています。
- ④2017 冬季アジア札幌大会は、5競技・11 種別・64 種目で開催され、32 か国・地域から 2,010 人の選手・役員が参加しました。

①さっぽろ雪まつりの観客数、経済効果の推移

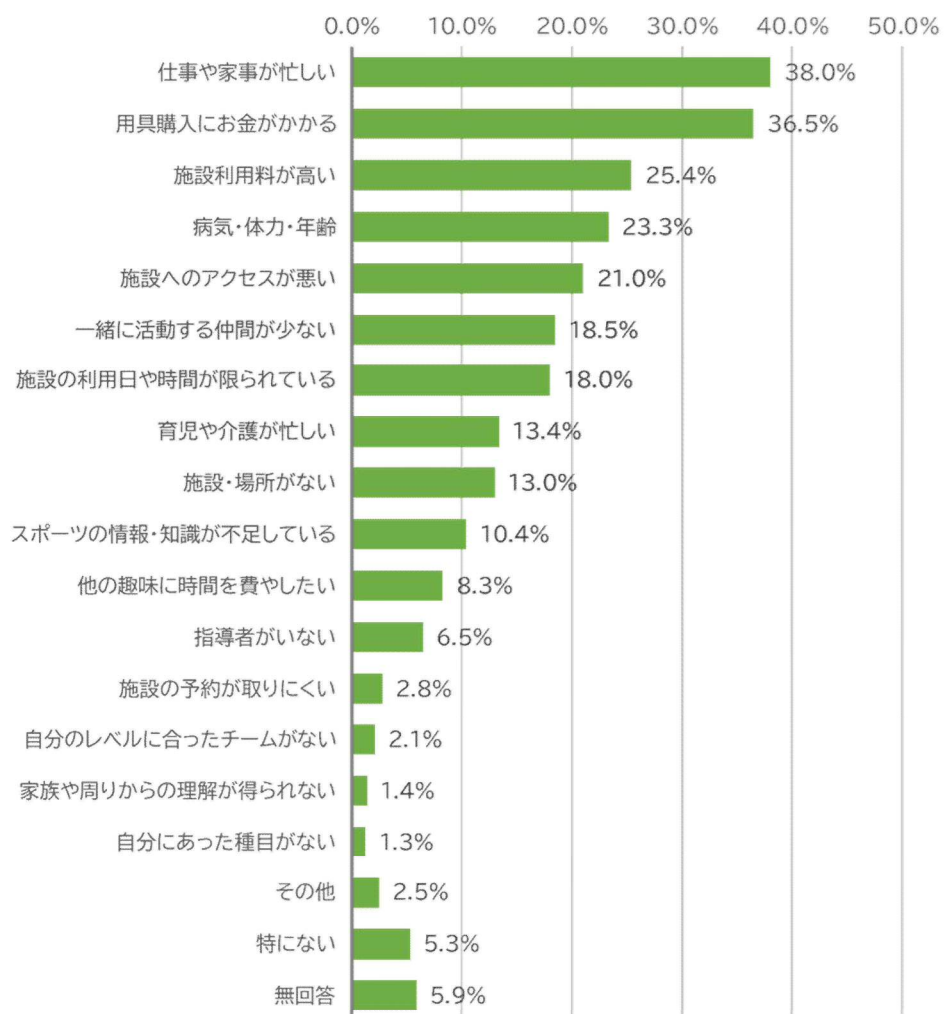


<資料>札幌市

②ウインタースポーツ実施率の推移(18-49 歳、年 1 回以上)



③ウインタースポーツを行う上での妨げ(平成 29 年度(2017 年度))



<資料> 札幌市
有効回答数:1,181

④2017 冬季アジア札幌大会概要

- 大会名称 第8回アジア冬季競技大会（2017／札幌）
（大会略称：2017冬季アジア札幌大会）
- 開催日程 2017年2月19日（日）～2月26日（日）（8日間）
- 開催地 北海道 札幌市・帯広市
- 競技および会場

競技	種別	会場
開会式		札幌ドーム
スキー	アルペン	サッポロティネ
	クロスカントリー	札幌市白旗山競技場
	ジャンプ	札幌市宮の森ジャンプ競技場
		札幌市大倉山ジャンプ競技場
	フリースタイル	さっぽろばんけいスキー場
	スノーボード	サッポロティネ
		さっぽろばんけいスキー場
スケート	スピードスケート	帯広の森屋内スピードスケート場
	ショートトラック	北海道立真駒内公園屋内競技場
	フィギュアスケート	北海道立真駒内公園屋内競技場
バイアスロン		西岡バイアスロン競技場
アイスホッケー	札幌市月寒体育館	
	札幌市美香保体育館	
	札幌市星置スケート場	
カーリング		札幌市カーリング場
閉会式		北海道立真駒内公園屋内競技場



- 競技種別 5競技 11種別 64種目
- 主 催 アジア・オリンピック評議会（OCA）
- 開催・運営・管理
第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会（SAWGOC）
- 参加国数 32か国（ゲスト参加のオセアニア2か国含む）
初参加国は5カ国
- 参加人数 本大会に参加した選手役員は、過去最高の2,010人となった。
選手数 1,164人（男子770人、女子394人）
役員数 636人（男子484人、女子152人）
NOC関係者 210人



将来のまちの姿-3

札幌型ライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人一人が再認識し、その魅力を高め、誇りを持って多様な手段により国内外に発信することで、世界の様々な人々が集い、交流しています。

データからわかる現在のすがた

- ①平成 26 年(2014 年)から札幌国際芸術祭が3年に1度開催され、国内外に札幌の魅力が発信されています。
- ②ウインタースポーツ目的で来札する外国人観光客は、令和元年度(2019 年度)は 116,000 人であり、減少傾向です。
- ③平成 25 年(2013 年)に「ユネスコ創造都市ネットワーク」のメディアアーツ分野に加盟しました。同ネットワークや創造都市ネットワーク日本などを通じて連携・交流している創造都市数は、令和元年度(2019 年度)現在、24 都市になっています。

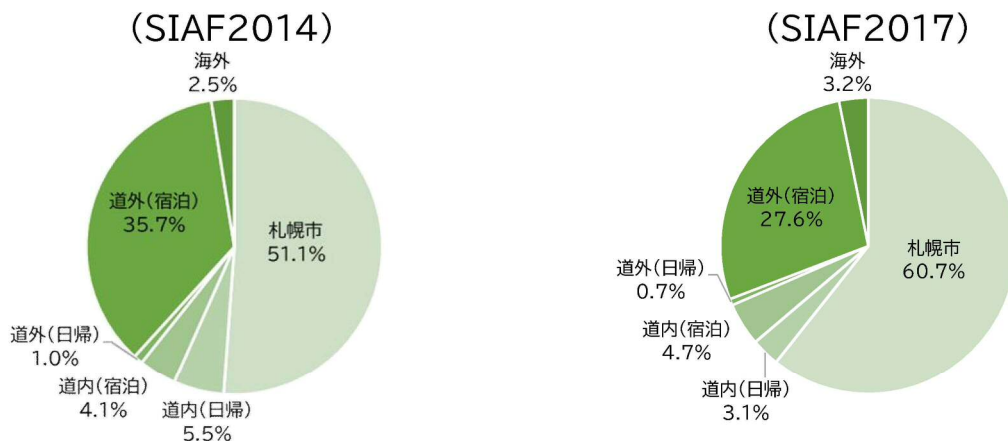
①札幌国際芸術祭開催状況と、来場者の内訳

■札幌国際芸術祭開催状況 ※SIAF2020 は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

	SIAF2014	SIAF2017
テーマ	都市と自然	芸術祭ってなんだ？
会期	7月19日～9月28日(72日間)	8月6日～10月1日(57日間)
会場数	18会場	44会場
参加アーティスト数/作品数	64組/214作品	151組/697作品
来場者数	478,252人	381,697人

<資料>札幌市

■来場者数の内訳



<資料>札幌国際芸術祭 2014 開催報告書、札幌国際芸術祭 2017 開催報告書

②ウインタースポーツ目的の来札外国人観光客数の推移

(人)	2017 年度	2018 年度	2019 年度
ウインタースポーツ目的の 来札外国人観光客数(1～3月)	175,000	162,000	116,000

<資料> 札幌市

③連携・交流している創造都市数

(都市)	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
連携・交流している創造 都市数(累計)	1	2	9	15	21	24

<資料> 札幌市